

東北町議会だより

第 33 号

発行 青森県東北町議会
編集 東北町議会広報
特別委員会
電話 0176-56-3111
内線 310
住所 東北町上北南
四丁目32-484



複式学級の現況調査（教育民生常任委員会）
小川原小学校4・5年生教室（平成25年7月9日）

主 な 内 容

- ◆6月定例会で審議された議案等 2 P
- ◆一般質問に4人登壇 4 P
- ◆各委員会及び協議会の活動 10 P
- ◆委員会報告 10 P

◎6月定例会

6月定例会は、6月6日招集され12日までの7日間の会期で開催されました。

今定例会では、町長より提出された報告3件、補正予算案件8件、条例案件等7件を可決したほか、選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

一般質問では、4人の議員が活発な議論を交わしました。

また、沼田徳右衛門議長から「議長辞職願」が提出され、新たな議長に乙供吾一氏(前副議長)が、副議長に森川盛人氏がそれぞれ選任されました。



副議長
森川盛人氏



議長
乙供吾一氏

議長就任あいさつ

東北町議会議長

乙 供 吾 一

この度、6月12日に開催されました町議会定例会において、不肖、私が第4代目の議長に選任されました。私にとりましては、身に余る光栄でありますと共に、その任の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

私事ではありますが、当町の合併協議の際は、旧東北町の副議長の立場にあり、当時の両町の町長、助役を含む合併協議会において、幾度となく議論を積み重ね、今日に至っておりますことは、誠に感慨深いものがあります。その合併から早8年が経ちましたが、目標とする姿にはまだまだ道半ばの状況にあるように思われます。行政と議会が担う課題は数多く、官民一体が大前提であることはもちろんですが、町民の声には謙虚に耳を傾け、さらに官の知恵を併せ、今後の発

展のために本職を努めて参りたいと思います。

町は今、農業に関してはTPP問題に直面しており、商業は大型店の出店により、ここ数年大きく様変わりしているように見受けられます。また、将来の高齢化社会に向け、町としての方向性をどのように定めるかなど、抱える問題も多く、また緊迫している状況にもあります。町議会と執行機関との真摯な議論により、これらの諸課題に取り組んで参りたいと思っております。

私如きが、町政に参画するには、誠に浅学非才ではありますが、町の将来の道筋を誤らぬよう、議員各位の協力と良識を仰ぎながら、議会運営に努める所存であります。

町民の皆様におかれましては、町議会に対しより一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

各委員会所属議員の変更がありました

() 内は前所属議員氏名

総務企画常任委員会

乙 供 吾 一(森川盛人)

産業建設常任委員会

森 川 盛 人(乙供吾一)

議会運営委員会

和 田 勇 人(森川盛人)

原子燃料サイクル対策等特別委員会

沼田徳右衛門(乙供吾一)

議会広報特別委員会

米 倉 俊 男(乙供吾一)

各委員会の新委員長・新副委員長は次のとおりです

総務企画常任委員会

委員長 和 田 勇 人

副委員長 笹 倉 健

議会広報特別委員会

委員長 森 川 盛 人

6月定例会で
審議された議案等

◎平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 報告済

◎平成24年度東北町土地開発公社事業報告及び決算報告について 報告済

◎平成24年度株式会社おがわら湖事業報告及び決算報告について 報告済

◎平成25年度一般会計補正予算案 報告済

・予算の総額に1796万8千円を追加し、総額を122億7496万8千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算案

・予算の総額から25万7千円を減額し、総額を26億500万3千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度介護保険特別会計補正予算案

・予算の総額に156万2千

円を追加し、総額を24億7012万6千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度介護サービス事業特別会計補正予算案

・予算の総額から18万3千円を減額し、総額を2044万3千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算案

・予算の総額に2万9千円を追加し、総額を1億608万8千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算案

・予算の総額に66万6千円を追加し、総額を6億3955万6千円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算案

・予算の総額から29万3千円を減額し、総額を3億7042万円とするものです。

全会一致で可決

◎平成25年度上水道事業会計補正予算案

・営業費用に9万5千円を追加し、予備費から9万5千円を減額するものです。

全会一致で可決

◎小川原湖交流センター条例の一部を改正する条例案

・小川原湖交流センター利用料金の一部を改正するためのものであります。

全会一致で可決

◎青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

全会一致で可決

◎青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

全会一致で可決

◎財産の取得について

・消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ付き）1台を取得するものです。

全会一致で可決

◎議員派遣について（県下町村議員研修会）

派遣

◎東北町選挙管理委員及び同補充員の選挙について

・選挙管理委員
高松捷一
相馬成登

鶴ヶ崎 秀康
小笠原 武志

指名推選により当選

・同補充員
甲地 千代志
野田 武尚
北村 正志
千葉 和雄

指名推選により当選

◎東北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

・地方公務員給与の引き下げを求める国の要請に応じ、職員の給与を減額するためのものであります。

賛成多数で可決

（起立採決 賛成12、反対3）

◎東北町単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案

・地方公務員給与の引き下げを求める国の要請に応じ、職員の給与を減額するためのものであります。

賛成多数で可決

（起立採決 賛成12、反対3）

◎東北町特別職等の職員の給与の支給に関する特例を定める条例の一部を改正する条例案

・職員の給与の減額に伴い、町長、副町長及び教育長の給与を減額するためのもの

です。

全会一致で可決

平成25年第3回 議会臨時会

4月30日臨時会が開催され、次の議案が承認・可決されました。

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度一般会計補正予算）

・予算の総額に863万1千円を追加し、総額を135億6192万4千円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算）

・予算の総額に382万1千円を追加し、総額を26億1332万8千円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度介護保険特別会計補正予算）

・予算の総額に1785万1千円を追加し、総額を24億2035万8千円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算）

・予算の総額から158万5千円を減額し、総額を9590万4千円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算）

・予算の総額から331万5千円を減額し、総額を9億4645万2千円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算）

・予算の総額から186万5千円を減額し、総額を5億95万円とするものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（東北町国民健康保険条例の一部を改正する条例）

・地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、東北町国民健康保険条例の一部を改正するものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（東北町税条例の一部を改正する条例）

・地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、東北町税条例の一部を改正するものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（東北町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）

・地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、東北町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正するものです。

全会一致で承認

◎専決処分した事項の報告及び承認（東北町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）

・地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、東北町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正するものです。

全会一致で承認

◎東北町特別職等の職員の給与の支給に関する特例を定める条例の一部を改正する条例案

・町長、副町長及び教育長の給料月額の特例を定めるためのものです。

全会一致で可決

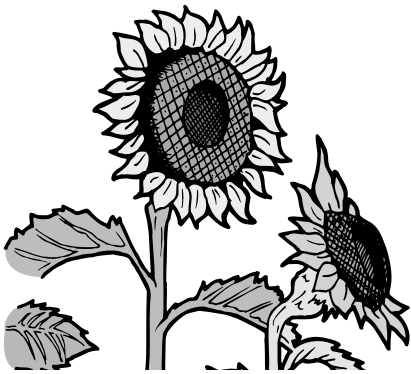
平成25年第4回 議会臨時会

5月21日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎工事請負契約の締結について

・除雪機械収納車庫建築工事について、請負契約を締結するものです。

全会一致で可決



一般質問 4議員 町政を問う



議員 乙 供 吾 一

質問一
赤川沿いの道路について問う。

平成22年3月の議会において、赤川沿いに乙供から二ツ森を経由して上北までの道路

の造成をということで一般質問しました。その後の計画等についてお尋ねします。

答 弁

町 長

新たなルートが可能か、調査したい。

この路線は東北中山間事業で整備を計画して、平成20年度に測量設計を実施し、平成21年度に用地買収を進めることで地元説明会を実施しました。その際、一部地権者の中で、水田が中央部で分断されることなどから、線形の見直しの要望があり、時間を要したことや相続等の権利関係に時間を要すること等から、計画期間中での完成が見込めなくなり、平成23年度をもって事業を休止することになりました。

しかしながら、地元から道路計画画線を西側山手へ移動させた案での整備について改めて検討してほしい旨の強い要望があることから、平成26年度から実施予定にしている第2期東北中山間事業に改めて記載できないか、県と協議を重ねてまいりました。今年度実施する「東北町農村振興基

本計画」策定業務において、新たなルート設定が可能か調査し、判断してまいりたいと思います。

質問二
赤川水利組合の運営について問う。

赤川のたび重なる水害の緩和のため、県の土木課により昭和44年に揚水機が設置されました。その後42年が経過し、揚水機も古くなり、更新しなければならぬ時期となっています。もともと県が設置したものですから、当然新設の義務も県にあるものと思われる。また、設置してある土地についても、昭和44年の当時に県が買い受けて揚水機を設置した番地が赤川橋ノ上33番地だったのに、後に正しくは赤川橋ノ上35番地の5でありました。なおかつ、その土地が全く無関係の個人の共有地にあるということもわかりました。すなわち全く関係のない人の土地に建設されたということでもあります。今現在、その所有者と組合員の個人の売買により、組合員の名義になっています。この件については、現状のままにしておけないと思っています。

ぜひとも町が当時の立会者の立場ということもあり、地域県民局と協議の場をつくってほしいと思っています。

答弁

町長

補助事業等が無いが、国・県へ要請したい。

赤川揚水機場は、昭和45年赤川改修工事に伴う建物等の移転補償として、県単事業において整備がなされたものと記憶しています。ポンプ本体につきましては、これまで数回にわたり修理し、また取水口の補修など県単事業や農業災害復旧事業などを導入して維持管理してきたものと理解しています。利用を開始して四十数年になりますので、更新すべき時期にあることは承知していますので、何らかの補助事業等がないのか、国・県へ要請してまいりたいと思います。

また、揚水機場の設置位置の土地所有権の問題につきましては、県との話し合いが必要と思われますので、担当部局との協議につきましては町としてもかわりを持つべきと考えています。



岡 山 粕 男 議員

質問 農家の所得向上について問う。

質問

政府はTPP、環太平洋連携協定の交渉参加を表明し、農家にとっては不安づくめの農政となつてきています。さらには、アベノミクスによる急激な円安が影響して、秋肥料の4・6%の値上げが発表されています。こんな中で町長は、農産物の販売活動の拡大と東北町ブランドの確立に努め、所得の向上を目指すとしていますが、具体的な事業内容を伺いたいと思います。

町長の言う「トップクラスの生産力を誇る農産物」とは、私は、ながいも・にんにく等も含むと思いますが、ながいも・にんにくの良質系統種子の確保が高価で難しいのが現状です。ちなみに、10アール当たりの種苗費が、ながいもの場合12万5,000

0円、にんにくの場合は34万3,400円かかると言われて、収入に対する種苗費が非常に高いのであります。地元県議会も県議会でないも産地戦略と今後の取り組みについて質問されておりますが、県では「ながいも産地再生戦略行動計画」を策定して進めています。私が調査したところでは、まだまだ供給量が不足している中で、農協との取り組みが必要だということでありました。我が町では、にんにくの種苗購入費に50万円予算計上していますが、JAゆき青森、JA十和田おいらせから伺うと、ながいも・にんにくの種苗事業への助成措置を願っていますが、その考えはないか、町長の考えをお尋ねします。

次に、TPP参加で一番打撃を受けるのは食肉だと言われています。消費する立場からすれば歓迎するところでありましょう。畜産農家からすれば死活問題であると言っています。町としても肉用牛に係る支援策を構築するべきだと思いますが、考えを伺います。当初予算に肉用繁殖雌牛導入事業補助金200万円を計上しておりますが、年間のくらの雌牛の導入がされてい

るのか伺います。また、雌牛の血統はどのような牛なのか伺います。繁殖農家の声は、能力の高い素牛を置きたいが、経営資金上なかなか置けないのが現状であると言っています。町からの支援策も望んでいます。町長、継続事業だけではなく、新たな時代に合った事業の取り組みが必要となつてきていると思います。畜産振興の考えをお尋ねします。

答弁

町長

●健康な土づくり運動によりブランド化に努め、農家所得の向上につなげたい。

●にんにくの肥大力に富む種子の増殖、ながいも優良種苗の安定供給に取り組む。

●肉用繁殖雌牛導入事業補助などにより畜産振興を推進したい。

政府の3月15日のTPP交渉参加表明により、その議論が白熱している中、国からは一向に影響額の試算の詳細な説明がなく、青森県でも県独自の影響額の試算ができない

状況にあり、特に農林水産業では今後の先行きがますます不透明感を増し、農業者の不安をさらに増幅させているところです。

このような中で、当町の特産品であるながいものブランド確立については、「日本一健康な土づくり運動」の活動計画に基づき、地域資源を活用した堆肥製造施設である東北町有機供給センターで製造された高品質堆肥を土壌診断によって散布することが安全・安心な農産物生産のための土壌改良と養分補給が同時に行えることと、さらに低コストの効果も期待でき、そこから生産される「日本一健康・安全・おいしい」農産物の生産と持続性の高い産地づくりがブランド化の確立につながる。ことから、堆肥の購入価格に対して助成事業を継続しているところだ。

また、ながいも洗浄選別・所蔵施設の整備により、貯蔵保管の割増料金や横持ち運賃等の農家の経費負担の軽減や、共選・共販による販売価格の向上がブランド化の確立と農家所得の向上につながっているものと考えています。

次に、町の主要農産物であるながいも・にんにくの良質

な種子の確保に関する取り組みですが、にんにくにつきましては、十和田おいらせ農協で取り組んでいる「にんにく産地」としての生産性の向上及び良品質な大玉生産を図るため、従来の種子より肥大に富む種子の増殖をするため、種子購入費に対する助成を行っているところです。ながいもについては、「あおもりながいも産地再生戦略」の行動計画の中で、優良種苗の安定供給として良品質ながいもの安定生産に向けた種苗増殖体制を維持しながら、優良種苗の安定供給に取り組みることとしています。特に今後、農協等で独自のながいも種苗生産のための採種ほ場の設置計画があれば、町としても積極的に支援してまいりたいと考えています。

また、近年の畜産におきましては、放射能汚染の風評被害による枝肉相場の価格及び生乳価格の低迷や、天候不順による飼料生産不足に伴う飼料価格の高騰と、畜産経営は非常に厳しい状況であると思っております。町としては、肉用繁殖雌牛導入事業補助並びに乳牛導入に支援する家畜導入推進事業補助の実施及び町営放牧場の運営を継続することにより、畜産農家の経営規模拡大及び家畜管理労働力の軽減による経営所得の向上と、さらには地場の消費拡大を図ることが大切だと思っております。そういう意味において、イベント等による「東北町和牛」の普及宣伝活動を積極的に取り組み、畜産振興を推進してまいりたいと考えています。

答 弁

農林水産課長

肉用牛繁殖雌牛導入事業については、平成24年度の実績で、全部で12戸の農家に対して16頭の助成を行っています。平成23年度におきましては全部で15戸に対して24頭の助成を行っています。平成22年度の実績では、15戸の農家に対

して20頭の助成を行っています。



田 嶋 悟 議員

質問一 小学校の統合について問う。

小学校の統合について伺います。全国的な子供の少子化に伴い、我が町も小学校の児童数が毎年のように減少傾向にあります。7校のうち4校では複式学級にて授業を受けているようです。さらに、4校のうち2校においては複式学級が2学級にもなっています。こういう状況下では子供たちの勉学にも支障が出てくるものと思いますが、いかがでしょうか。さらに、部活においては人数が少なく、単独校で試合等に参加できなくなり、他の小学校の児童と一緒に試合に参加しているような状況と聞いております。学校の統合については、当然

保護者、地域の方々の理解が必要であります。校舎も古く、また耐震強度にも不安のある校舎もあるように思われます。それらの点をかんがみ、今まで小学校の統合について教育委員会などで話し合われたことがあるのか、ないとするならば、これから先議論する予定があるのか、お尋ねします。

答 弁

教育長

小学校の統合については、調査を始める時期にきている。

小学校7校の現状は、上北小学校、蛸沢小学校、甲地小学校は単式学級、第一小学校、小川原小学校、千曳小学校、水喰小学校は単式及び複式学級の学級編制となっています。今後の児童数の推移を見ますと、各小学校とも著しい減少が予想され、それに伴い第一小学校、小川原小学校、千曳小学校、水喰小学校の複式学級が固定化され、さらに平成28年度には第一小学校、小川原小学校も複式学級が複数となる予定です。

小学校の統合は、教育効果の側面と地域住民の感情的な側面が非常に大きなウェイトを占めるものですので、慎重に進めなければならぬと考えています。現在、教育委員会においては、小学校の複式学級についての議論を行っておりますが、小学校の統合については、調査を始める時期にきているものと考えています。なお、その際は町の有識者や集落座談会を開催し、幅広くご意見、ご要望を賜り、統合について検討する所存です。

質問二 学童保育について問う。

子供教室の時間帯は、平日は午後1時から午後6時までとなっているようです。近年においては夫婦共働きや母子家庭などがあり、時間的に制限されている状況下にあると思われれます。また、町内に雇用の場を確保できなく、やむなく他の市町村に雇用の場を確保している状況であります。さらに、子供の「迎え」をお願いする人もなく、そのために子供の「迎え」には子供教室の終了する時間ぎりぎり、間に合うか間に合わないかの

状況にある人もいるようです。ある町においては、それらの状況を考慮し、今年度から平日は午後1時から6時30分まで、土曜日においては午前7時半から午後6時まで、夏・冬休みについては午前7時半から午後6時30分までとし、30分ほど延長されているようです。親御さんからは、30分だけでも延長してもらえれば非常に助かるとよく聞くとこゝろであります。そこで、我が町においても子供教室の時間延長はできないか、お伺いします。

答 弁

教育長

保護者の意向や近隣市町村の状況を調査し、検討してまいりたい。

放課後の対策事業として文部科学省所管の放課後子供教室推進事業を実施し、小学校1年生から3年生までを対象に、小学校の空き教室等を利用し、放課後子供教室を7校に開設しています。放課後子供教室の開設時間については、現在、平日については午後1時から5時まで、土曜日及び夏休み・冬休み等の長期休業

日等は午前7時45分から午後5時までとなっております。共働きのため放課後に子供の世話ができる家族がない場合等の事情がある場合は、平日・土曜日とも1時間延長して午後6時まで開設しています。ご質問の開設時間の延長についてであります。保護者の時間延長の需要や近隣市町村の状況を調査し、学校及び指導員等とも協議して検討してまいりたいと考えています。

質問三

奨学資金貸付について問う。

我が町の奨学資金貸付条例では、「奨学生本人の保護者が1年以上町内に住所を有している」と、「四年制大学に限る」と制限をし、貸し付けられているようです。隣の七戸町では、短期大学、各種専門学校等の学生にも奨学金の貸し付けをされているように伺っています。なぜ我が町では「四年制大学に限る」と制限を設けているのか。そのほかにも所得の条件等があるようですが、経済的な理由などで短期大学や土木工学の知識や、また建築士、測量士、看護師等を目指して専門学校

答 弁

教育長

社会状況等をかんがみ、検討してまいりたい。

奨学金制度は、旧東北町・旧上北町でいずれも昭和62年度に創設され、目的は文部科学省に認可された学校教育法に規定する大学への進学を志望し、かつ能力を有しながら経済的事由により在学が困難な者に対して必要な奨学資金を貸し付けし、もって学習意欲の向上と人材の育成を図ることを目的としています。昭和62年度から平成24年度までの26年間で、延べ262人、年平均10名程度が利用し、現在に至っています。運用については、貸し付け審査基準に

基づき、学業成績、世帯の所得等を勘案し、貸し付けを実施しているところであります。基金総額が本年4月1日現在で2億2,500万円余りですが、今後とも10名に貸し付けすると仮定しますと、平成37年度には基金が底をつく推計となっております。貸付者の対象者拡充については、毎年、奨学資金貸付審査会で大学院までの拡充や短期大学及び専門専修学校への拡充が話題となり、議論も行われていますが、社会状況等もかんがみ、今後とも検討してまいりたいと思います。



市川 俊 光 議員

質問一
上北町・乙供両駅に建設を計画している東西通路について問う。

町は、青い森鉄道の上北町駅、乙供駅をまたぐ東西通路の建設を進めようとしています。

す。町長のマニフェストには、「上北町・乙供両駅の東西通路の実施などにより多くの人が集い、交流する場の拡充を図るなど、商店街の活性化と地域の資源を最大限に生かした観光の振興に努めます」と書かれています。この2つの駅に東西通路をつくることで多くの人が行き来するようになり、商店街が活性化し、観光の振興にも結びつくという趣旨のことを述べているものと読み取ることができます。私は、商店街が活性化することには大いに賛成です。観光の振興も大事なことで考えます。しかし、私は駅をまたぐ東西通路をつくることでどのくらいの人が新たに商店街に足を運ぶことになるのか、商店の売り上げをどのくらい伸ばすことができるのかということがわかりません。これで本当に商店街が活性化するかという疑問を持っている町民は、決して少なくありません。町長が選挙でも町民に訴え、町の政策として公費を投じて進めようとしていることですので、多くの町民が納得できる、しっかりした裏づけが必要であると考えます。東西通路を建設することで商店街が活性化するという町長

のプランの内容を具体的にお示しいただきたいと考えます。この東西通路の建設は、町民の意見から計画されたものと聞いています。町民一人ひとりの意見は貴重なものです。そして、それが町の政策に反映されていくことは大事なことでと考えます。しかし、町政の運営に最終的に責任を負う立場にあるのは町長です。町民の声に耳を傾けつつ、町の現状を共有し、改善する責任ある判断をしなければなりません。町民からの要望があったとしても、大局に立って判断したとき、それが町として望んでいる効果を上げることができないと考えられる場合や、後に町民の負担となることが予想されるような場合は慎重に対応すべきであるし、町民からの要望であっても時には退けなければならぬということもあるのだと考えます。東西通路については、通路の建設計画だけが先行して進み、真に商店街の活性化に結びつくものなのか、町にとって必要なものなのかということについて十分な裏づけが乏しいと感じます。私は、建設の効果がどのようなものになるのか、町民が納得いく裏づけを示すことができないのであれ

答 弁

町 長

交通環境や商店街施設環境を整備し、商店街を活性化したい。

その評価は幾分厳しいものであると認識しています。その1つの要因として、交通環境や商店街としての施設環境の脆弱さにあることは明白であり、その整備が急がれているところではあります。特に駅前イベント広場は早期に整備すべきものであり、その一環として、今回東西通路を整備するものです。今後、計画的にハード、ソフト両面での具体的な駅前商店街の活性化につながる施策を展開してまいります。

質問二 米軍三沢基地の強化について問う。

新聞報道によると、アメリカ政府は米軍三沢基地に無人偵察機グローバルホークを配備する方針であるとされています。米軍三沢基地の周辺に住む住民は、滑走路から離発着する戦闘機の騒音やデモフライトなど訓練飛行による轟音や事故の危険と隣り合わせで暮らしています。また、三沢基地所属のF16戦闘機がイラクに展開するなど、三沢基地は世界各地でアメリカがかかわる軍事衝突に連動して、緊張状態をこの地域にもたらす窓口にもなってきました。

た。こうした中、いまだかつて配備されたことのなかった無人偵察機が新たに配備されるようとしていることは、絶対に見逃すことができません。アメリカ軍は戦闘機の無人機化を進めていて、10年後には攻撃機の3分の1は無人機化される計画と聞いています。これは、自軍の兵士の人命を確保しながら、戦闘機をロボットのよう操り、相手を殺傷、破壊するもので、既にイラク戦争などでも使われました。最近ではパキスタン攻撃にも投入されており、多くの民間人の犠牲者を出しているとの批判も上がっています。こうした戦争のロボット化は、攻撃へのちゅうちょや歯どめをなくし、戦争のゲーム感覚化へと突き進むことになるのではないかと強く危惧されるものです。今回、三沢基地に配備されるようとしているのは、戦闘機ではなく偵察機であり、戦術の一角をなすものと考えますが、こうしたアメリカの戦略の一角をなすものと考えます。無人機の場合、より一層飛行機そのものよりも、その拠点となり、指令、操縦する基地の存在が重要となります。三沢基地に無人偵察機が配備されれば、相手国にとつて三沢基地の存在そのものの脅威が増し、基地に対する緊張関係が強まる可能性があります。こうした軍事的対応で互いに緊張を高め合うことは、国同士の関係を不安定にするし、基地周辺で暮らす住民は軍事的緊張の最前線に身を置くこととなります。我が町は、これまでも米軍三沢基地の一部をなす町として、基地が強化されることにはしっかりと物を言ってきた経緯があります。今回の無人偵察機の配備は、重大な基地強化であると考えます。報道されていることについて事実をしっかりと掌握するとともに、無人偵察機の新たな配備についてはきっぱりと反対する立場から物を言っていくことが必要であると考えます。米軍三沢基地に無人偵察機が配備されることについてどのような態度をとられるお考えをお尋ねします。

答 弁

町 長

現段階においては、防衛省から説明がない。

ことし4月に米空軍は、三沢基地に無人偵察機グローバルホークの配備を検討してい

るとの報道がなされましたが、この件に関して具体的な配備計画が決定されたという情報は町として持ち合わせておりませんが、三沢基地に隣接する町として、基地の態様の変化には大いに関心を持っています。事実であると認識しています。防衛大臣は、5月にグローバルホークを視察した後の会見で、グローバルホークについて、「安全保障の問題もありますが、東日本大震災において活躍したという報告を受け、防災などにも活躍するという印象を持ちました」とコメントをしています。現段階においては、当町に防衛省からこの事案に対する特段の説明もないわけですが、具体的な配備計画が決定されれば、当然何らかのアプローチがあるものと思っています。その際は、三沢市と歩調を合わせながら安全保障という観点も含めて事に当たりたいと考えています。

質問三

小水力発電の推進について問う。

福島第一原発の事故では、いまだに15万人もの方々が避難生活を余儀なくされています。

す。事故を起こした福島第一原発では、事故の検証も十分に行えないまま、ひたすら原子炉の冷却に取り組んでいきます。このために放射性物質の汚染水が大量につくり出され続け、そのタンクが原発の敷地を埋め尽くし、汚染水の置き場がなくなってしまうと聞きます。こうした状況からも、この事故は現在汚染を広げて進行中であり、決して収束しているなどとは言えるものではないと考えます。安倍政権は、やみくもに原発の再稼働や海外への輸出を推し進めようとしています。現在進行している事故の現実をしっかりと直視するならば、国として原発ゼロの日本を目指し、その歩みを力強く進めることこそが強く求められることだと考えます。原発推進を主張される方の中には、日本は資源がない国だからということを決まり文句のように言われる方がおられます。しかし、環境省によると我が国の自然エネルギーの実用化の可能性は、現在の技術水準や社会的制約なども考慮した上でも20億キロワット以上あると推定されています。これは、福島での事故の前、国内全ての原発が稼働していたときの発電

能力の40倍に当たります。日本には資源がないのではなく、それを活用する政策がなかったということのほうが正しいのではないのでしょうか。我が町では、この春から住宅の太陽光発電パネル設置での助成事業が始まりました。太陽光、風力、地熱など身近なエネルギーに目を向けた自然エネルギーの活用は、全国各地でその地の利を生かして進められています。我が町もさらなる自然エネルギーの活用を推進して、安全安心のエネルギーづくりの一翼を担うことが肝要であると考えます。

県内では、七戸町、五所川原市、十和田市などで小水力発電の取り組みが始まっていると聞きます。小水力発電は、小さな川の流れなども利用できる小規模の水力発電施設で、各地の土地改良区などでも設置、運営に取り組み、電気を売った収入を事業費に組み入れているところもあると聞きます。我が町は、山から流れてきた水が小川原湖に注ぎ込む水の流れの豊富な町です。我が町でも小水力発電の取り組みは大きな可能性を持っているのではないのでしょうか。町として今後、小水力発電を推進するお考えはお持ちなの

でしょうか。これからの取り組みをどのように考えているのかお尋ねいたします。

答 弁

町 長

水利権や設置費用の問題もあるが、要望があれば相談に応じたい。

小水力発電は、一般的に出力が1,000キロワット以下で発電とされています。長所としては、昼夜、年間を通じて安定した発電が可能であること、出力変動が少なく、電力系統が安定しており、電力品質に影響を与えない等が挙げられています。短所としては、落差と水の流量が豊富である場所に限定されること、水の使用について利害関係が

つきまとい、新たに発電を行う場合、法的手続きが必要で、煩雑であることなどが挙げられます。特に流水の占用許可については、河川及び農業用水の場合、流水の占用許可に基づき、いわゆる水利権の許可の取得が必要であると認識しています。設置費用については、導入する場所の特性に応じて発電機器をつくることから、条件によってはかなり

のコストがかかる場合もあります。また、発電能力が小さいほど割高になり、一概には言えませんが、1キロワット当たり100万円から300万円の費用が必要であると言われています。我が町においては、河川の高低差に基づいて算出される潜在的な発電可能エネルギーについては、太陽光発電など他の自然エネルギー利用の発電と比較して小さいことから、かなりの費用が必要になると思っています。

このようなことから、我が町における小水力発電導入に関する優先順位は、太陽光発電等、他の自然エネルギーを活用した発電と比較して低いものと思っています。しかしながら、山間部に近い集落などは分散型エネルギーとして小水力発電を利用することが有効なケースもあることから、地域のコミュニティが主体となつて小水力発電を設置したいとの要望がある場合には、国の補助金の活用等、積極的にご相談に応じていきたいと考えています。



各種委員会及び協議会の活動(4月～6月)

★総務企画常任委員会

開催日	事 件 (内容)
5月22日	所管事務調査 (1) 総務課 ① 防護柵設置工事について
6月12日	(2) 企画課 ① 平成25年度市町村「地域振興力」向上対策支援事業費助成について (1) 委員長互選について (2) 副委員長互選について

★産業建設常任委員会

開催日	事 件 (内容)
5月23日	所管事務調査 (1) 建設課 ① 県営中岫太田嶋排水路整備事業負担金について ② 23国岩渡沢川改修工事について
6月21日	(2) 商工観光課 ① 平成24年度(株)おがわら湖事業報告及び決算報告について ② 小川原湖交流センター「宝湖館」温泉料金について 所管事務調査 (1) 建設課 ① 花切橋下部工工事について

★教育民生常任委員会

開催日	事 件 (内容)
5月24日	所管事務調査 (1) 保健衛生課 ① 成人への風しん予防接種の実施について ② 高齢者肺炎球菌予防接種について (2) 学務課 ① 東北地区中学校統合検討委員会意見書について

★議会運営委員会

開催日	事 件 (内容)
5月16日	(1) 一般質問通告書の様式変更について (2) 今後の常任委員会の運営について (3) 東北町選挙管理委員及び同補充員の選挙について
5月31日	(1) 会期日程について (2) 議会終了後の懇親会について

★議会広報特別委員会

開催日	事 件 (内容)
4月26日	(1) 議会だより第32号の編集について
6月12日	(1) 委員長互選について

★全員協議会

開催日	事 件 (内容)
4月30日	(1) 南部縦貫株式会社消費税支払請求調停和解案について

委員会報告

○総務企画常任委員会

(5月22日開催)

委員長 森川 盛人



所管事務調査結果

総務課関係

町側から、防護柵設置工事について説明を受けた。

★主なる質問・回答・意見

【質問】危険防止対策のための防護柵設置工事はいいことだが、危険箇所はこの他にもあると思うが、把握しているのか。

【回答】細かいところまでは確認していませんが、危険箇所ということでは急傾斜地とし

て図面で確認できるようにしています。

【質問】防護柵設置の要望があったのか。

【回答】地域からの要望です。

企画課関係

町側から、平成25年度市町村地域振興力向上対策支援事業費助成について説明を受けた。

★主なる質問・回答・意見

【質問】町の「魅力映像制作業務」の制作方法と、町のアピール方法についてお知らせ願いたい。

【回答】委託業者と協議することになりますが、インターネット、YouTubeあるいは町のホームページ等で配信したいと思います。



○産業建設常任委員会

(5月23日開催)

委員長 蛭澤正雄



所管事務調査結果

建設課関係

町側から、①県営中岫太田
嶋排水路整備事業負担金につ
いて、②23国岩渡沢川改修工
事について説明を受けた。

★主なる質問・回答・意見

【質問】県営中岫太田嶋排水
路整備事業の総事業費と町負
担額はいくらか。

【回答】総事業費は、約2億
円を想定しています。そのう
ち国が50%、県が27%、地元が
23%の負担になります。今ま
での経緯をみても全額町が負
担しています。七戸町と東北
町で負担することになります

が、地元負担23%のうち48.5%
が東北町負担となります。

【質問】具体的に今までのど
ような事業があったのか。

【回答】旧東北地区では、プ
ラントの手前からポンプ場ま
での排水路整備、旧上北地区
では、現在事業を進めている
集落基盤整備事業、中山間整
備事業になります。これらの
事業を町で負担しています。
揚水の場合は、ガイドライン
があれば町が負担、ない場合
は地元の改良区が負担するこ
とになります。排水の場合は、
道路の路面水が排水に入って
いくということで町が負担し
ています。

【質問】岩渡沢川改修工事に
ついて、設計段階でボーリン
グ調査をしているから、この
ような地層だというのは分
かっていたのではないのか。
それを反映した設計でなけれ
ばならない。設計業者に責任
がないのか。

【回答】国土交通省の指針に
基づいて、河川・護岸の場合
は200m間隔でボーリング
調査しています。その調査結
果に基づいて設計をしていま

す。地盤が極端に軟らかい箇
所が判明した部分について
は、今回新たにボーリング調
査をした結果で分かったこと
です。設計上の問題ではない
と判断しています。

【質問】平成20年度の工事か
ら平成23年度までは、地盤が
軟らかいために、町が材料を
支給し杭打ちをしていたと聞
いている。

【回答】杭打ちをしなくても、
問題がないという設計です。

【意見】当時は、地盤が軟ら
かいたため、町が材料を支給し
て杭打ちしていたと思います。

商工観光課関係

町側から、①平成24年度(株)
おがわら湖事業報告及び決算
報告について、②小川原湖交
流センター「宝湖館」温泉料
金について説明を受けた。

★主なる質問・回答・意見

【質問】宝湖館の温泉料金を
30円値上げしても、前年度収
入実績の85%を想定している
が疑問である。

【回答】交流センターに来た

方によるアンケート調査によ
るものです。料金を値上げし
たことにより赤字になること
も考えられます。温泉組合か
ら値上げの要望がでているの
で、その辺を考慮しています。

【質問】温泉組合も、町にだ
け料金を値上げというのはお
かしい。

【回答】議会に対し陳情書が
提出され、採択され値上げす
るという前提で、「温泉料金
適正化検討委員会」を開催し、
検討した結果、料金を230
円に値上げするというもので
答申したところです。

【質問】(株)おがわら湖におい
ても派遣等の業務について、
南部縦貫の例もあるのだから
んとしておいた方がいい。

【回答】平成22年度に税務署
が調査に来たとき、税理士も
立ち会って問題なしという調
査結果でした。昨年8月に税
務調査を受けたときに、税金
がかかるので修正申告して下
さいと言われましたが、2年
前は問題がないという調査結
果だったので、税理士と相談
して修正申告ではなく、更正
申告でということで税務署に

申し出をしています。

○教育民生常任委員会

(5月24日開催)

委員長 山端伸憲



所管事務調査結果

保健衛生課関係

町側から、①成人への風し
ん予防接種の実施について、
②高齢者肺炎球菌予防接種に
ついて説明を受けた。

★主なる質問・回答・意見

【意見】高齢者肺炎球菌予防
接種について、他町村は既に
実施しているのに東北町は9
月から実施というのは対応が
遅い。他町村に先がけて実施
してほしい。

【質問】子宮頸がんのワクチ
ン接種の件について、対象年

年齢を広げてほしい。
【回答】接種率等も参考に
して、今後検討したいと思いま
す。

学務課関係

町側から、「東北地区中学
校統合検討委員会意見書」に
ついて説明を受けた。

☆主なる質問・回答・
意見

【質問】中学校統合に係る地
域座談会の参加人数を教えて
下さい。

【回答】千曳12名、コミュニ
ティセンター3名、水喰18名、
甲地23名です。

【意見】統合については、た
だ単に数合わせの統合ではな
く、新しい展望をもった統合
にしていきたいことが大事である。

【質問】武道館建設は未定と
いう説明だが、柔道・剣道の
授業はどこで行うのか。

【回答】体育館で授業・部活
を行います。

【質問】現在も部活動の顧問
に補助金なるものを支出して
いるのか。

【回答】現在はないです。

議会の動き

月 日	用 務
4月23日	上北郡町村議会議長会監査会
4月26日	議会広報特別委員会
4月30日	第3回臨時会
	全員協議会
5月13日	上北郡町村議会議長会第1回定例会
5月16日	議会運営委員会
	東北町議会互助会総会
5月21日	第4回臨時会
5月22日	総務企画常任委員会
5月23日	産業建設常任委員会
5月24日	教育民生常任委員会
5月28日 ～29日	第38回町村議会議長・副議長研修会
5月31日	議会運営委員会

月 日	用 務
6月3日	青森県町村議会議長会臨時総会
6月6日	議会定例会
6月11日	議会定例会
6月12日	議会定例会
	総務企画常任委員会
6月12日	議会広報特別委員会
	議会定例会
6月21日	産業建設常任委員会

☆お知らせ

東北町テレビ

(東北町自主放送11チャンネル)

町議会9月定例会

放送予定

(9月上旬)

放送日程や内容は、リ
モコンの「番組表」ボ
タンで確認することが
できます。

議長 乙供 吾一
委員長 森川 盛人
副委員長 和田 勇人
委員 米倉 俊男
委員 蛸澤 正雄
委員 山端 伸憲
委員 市川 俊光
TEL 0176-56-3111
FAX 0176-56-3110

今月は「議会だより第33号」
をお届けします。
本号は、6月定例会を主に
編集しましたが、内容の一部
を要約しておりますのでご了承
承願します。
議会広報特別委員会では町
民の皆様親しまれる紙面作
りを心がけております。ご意
見、ご要望等ありましたら匿名
でも結構ですので、ご投稿
をお願いします。

